

エチオピアにおけるメンタルヘルスと心理社会的支援サービス(MHPSS)の 教員用継続的専門能力開発(CPD)プログラムへの統合に関する 検討ワークショップへの大使の参加

2024年10月3日、柴田大使はエチオピアの首都アディスアベバで開催された「エチオピアにおけるメンタルヘルスと心理社会的支援サービス(MHPSS)の教員用継続的専門能力開発(CPD)プログラムへの統合に関する検討ワークショップ」に参加しました。

日本政府は UNESCO-IICBA に対して資金援助を行い、エチオピアの紛争の影響を受けた3州で、生徒のために教師の MHPSS に関する知識と技術を向上させるプロジェクトを実施しています。本ワークショップは、MHPSS に関する知識と技術を共有し、全国的な教員研修を通じて枠組みを作るためのプロジェクトの一環として開催されたものです。参加者が各々の意見や経験について共有し、ワークショップ後も現場における試行と議論を経て、全国レベルでの MHPSS に関するフレームワークが開発され、より改善されていくことが期待されています。

ワークショップの開会式において、柴田大使は、日本がエチオピアに対して教育分野で長年にわたり継続的に教育施設の建設及び人材育成の両面から支援を行っていることに言及し、本事業を通じ「メンタルヘルスと心理・社会的支援」を教員が実践できる研修体制、及びその枠組みの構築に対する期待を述べました。

【写真】

